

# UCS 240M4 サーバの両方の起動ディスクの失敗を- vEPC 処理して下さい

## 目次

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[省略形](#)

[両方 HDDs 失敗](#)

[両方計算サーバの HDDs 失敗](#)

[両方コントローラサーバの HDDs 失敗](#)

[両方 OSD 計算サーバの HDDs 失敗](#)

[両方 OSPD サーバの HDDs 失敗](#)

## 概要

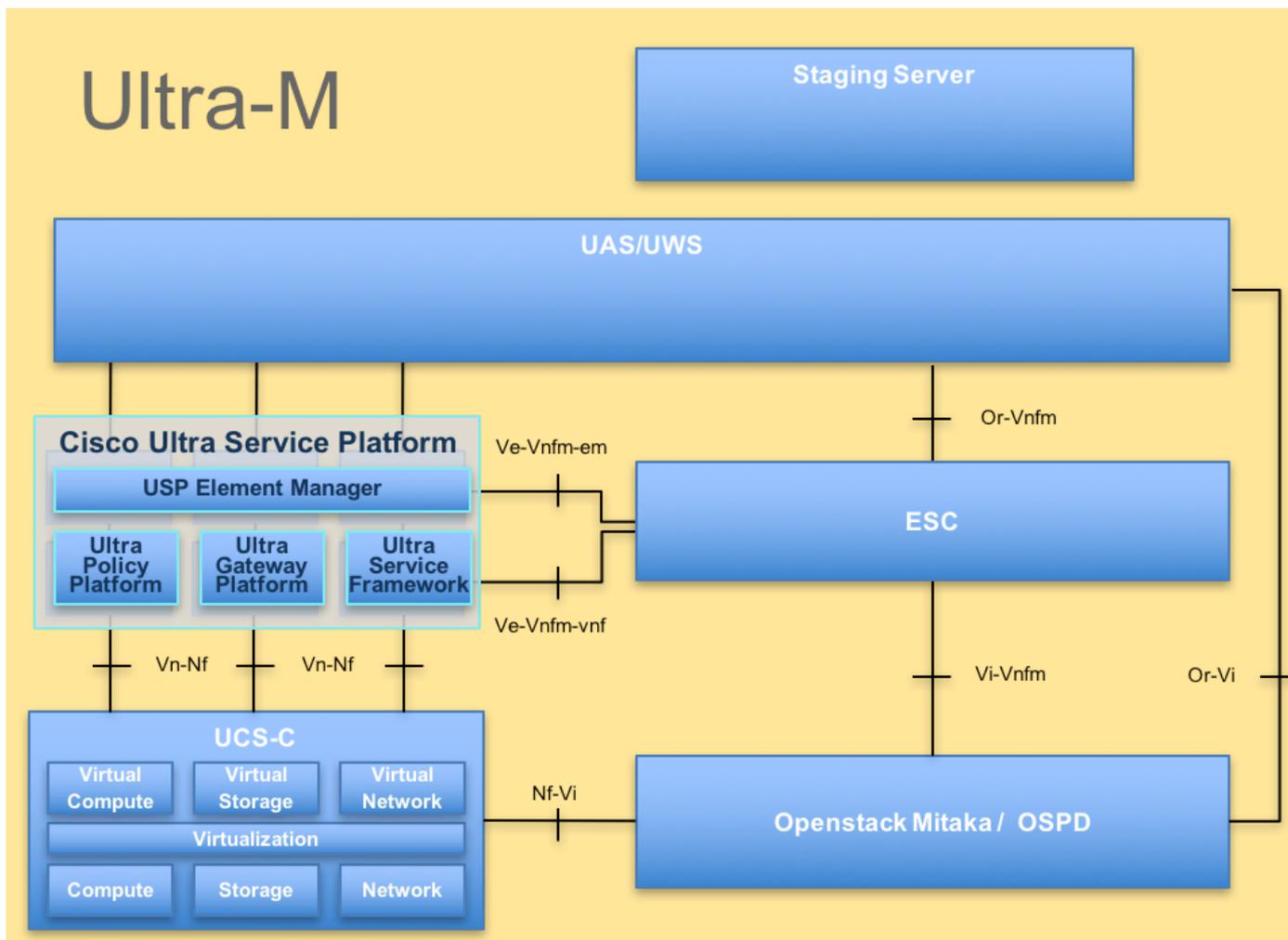
ホスト StarOS バーチャルネットワークが機能することこの資料が設定される Ultra-M のサーバの不良な HDDs の両方を取り替えるために必要なステップを記述したものです ( VNFs )。

## 背景説明

Ultra-M は VNFs の配備を簡素化するように設計されている事前包装され、検証された仮想化されたモバイル パケット コア ソリューションです。OpenStack は Ultra-M のための Virtualized Infrastructure Manager ( VIM ) で、これらのノードタイプで構成されています:

- 計算
- オブジェクトストレージ ディスク-計算 ( OSD -計算 )
- コントローラ
- OpenStack プラットフォーム-ディレクター ( OSPD )

Ultra-M の高レベル アーキテクチャおよび含まれるコンポーネントはこのイメージで描写されます:



## UltraM アーキテクチャ

この資料は Cisco Ultra-M プラットフォームをよく知っている Cisco社員のために意図され、コントローラ サーバ 置換の時に OpenStack および StarOS VNF レベルで遂行されることを必要なステップを詳述します。

注: 超 M 5.1.x リリースはこの資料の手順を定義するために考慮されます。

## 省略形

VNF	バーチャルネットワーク 機能
CF	制御機能
SF	サービス 機能
ESC	伸縮性があるサービス コントローラ
MOP	プロシージャの方式
OSD	オブジェクト ストレージ ディスク
HDD	ハードディスク ドライブ
SSD	ソリッドステート ドライブ
VIM	仮想 な インフラストラクチャ マネージャ

VM	仮想マシン
EM	Element Manager
UAS	Ultra Automation Services
UUID	ユニバーサル固有の識別番号

## 両方 HDDs 失敗

各ベアメタル サーバは 2 つの HDD ドライブと侵略 1 設定の起動ディスクとして行動するために提供されます。単一 HDD 失敗の場合には、RAID 1 水平な冗長性があるので、不良な HDD はホットスワップすることができます。ただし、両方とも HDDs 失敗、サーバダウンしている時サーバにアクセスを失い。アクセスをサーバおよびサービスに復元するために、HDDs を取り替え、曇スタックにサーバを追加することを必要としま存在します。

UCS C240 M4 サーバの欠陥のあるコンポーネントを交換するプロシージャは[サーバコンポーネントの交換](#)から参照することができます。

両方の場合には HDDs 失敗は、これら二つの同じ UCS 240M4 サーバの不良な HDDs だけを取り替えます。新しいディスクを取付けた後 BIOS アップグレード手順が必要となりません。

OpenStack では Ultra-M ソリューションを、UCS 240M4 ベアメタル サーバこれらのロールの 1 つをとることができます基づかせていました: 計算、OSD 計算、コントローラまたは OSPD。これらのサーバー ロールのそれぞれの両方の HDD 失敗を処理するために必要なステップがこれらのセクションで述べられます。

注: 両方とも HDDs 健全であるが、他のハードウェアが新しいハードウェアによって UCS 240M4 サーバで不良、しかし取り替える UCS 240M4 を、であるシナリオでは、同じ HDDs を再使用して下さい。この場合、HDDs だけ不良です、従って同じ UCS 240M4 を再使用し、新しい HDDs と不良な HDDs を取り替えて下さい。

## 両方計算サーバの HDDs 失敗

両方の失敗が計算ノードとして機能する UCS 240M4 で HDDs 観察されたら、[計算サーバ 交換手順](#)で与えられるように交換手順に従って下さい。

## 両方コントローラ サーバの HDDs 失敗

両方の障害が Controller ノードとして機能する UCS 240M4 で HDDs 観察されたら、で与えられるように交換手順に従って下さい。

コントローラ サーバがために両方とも HDDs 障害観察するセキュア シェル (SSH) によって到達可能ではないので、別の Controller ノードへのログイン リストされている正常なシャットダウン プロシージャを述べられるリンクで行うため。

## 両方 OSD 計算サーバの HDDs 失敗

両方の失敗が OSD 計算ノードとして機能する UCS 240M4 で HDDs 観察されたら、で与えられ

るように交換手順に従って下さい。

ここに述べられるプロシージャでは Ceph ストレージ 正常なシャットダウンは失敗が両方ともサーバの unreachability という結果に終ると同時に実行されたことができません。従って、それらのステップを無視して下さい。

## 両方 OSPD サーバの HDDs 失敗

両方の失敗が sn OSPD ノードとして機能する UCS 240M4 で HDDs 観察される場合、で与えられるように交換手順に従って下さい。

この場合、以前に保存された OSPD バックアップは完全なスタック転用のよう HDD ディスク 置換の後でリストアのために必要、他それです。